

千葉商科大学学長 原科 幸彦氏



はらしな・さちひこ 1946年8月生まれ。静岡県出身。75年3月東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻博士課程修了、4月同大学工学部社会工学科助手。マサチューセッツ工科大学客員研究員、放送大学客員教授、ロンドン大学客員教授、東京工業大学大学院総合理工学研究科研究科長を経て、2012年千葉商科大学政策情報学部及び同大学院政策研究科教授。14年政策情報学部長。17年3月から現職。

「商いの力」必要

「昨今は宅配市場が伸びたことで路上駐車などが取り沙汰される中、不動産と連携して待機場の設置といった対策が必要という声があります。物流も不動産と連携していかねばなりません。しかし、残念ですが、不動産のテクノロジーよりも物流のテクノロジーの方が遅れていると感じます。原科 日本国土を分散利用する場合にも物流が生かされます。地方分権型道州制を導入するに当たって、それぞれの道・州の都府県が整備されているように、国土の分散利用は可能だと思えます。大規模な自然災害が起これば、各地域が補完し合うことができ、リスク軽減につながります。今一番怖いのは、東京都が大きなダメージを受けた時です。一刻も早く分散型にしなければなりません。」

「関西圏では大型施設の供給が多数あります。過剰供給だろうと思っておりますが、予想以上にテナントが入って空きスペースは埋まってきています。」

レガシー残すこと大事

「倉庫は汎用性があります。工期が短く工費も安い上、様々な用途に変更しやすいという汎用性もあります。物流と不動産が一緒になって取り組めば、労基法も解決できると考えています。原科、不動産と物流は真逆の事業と見えます。物流はモノを動かしますが、不動産はモノや人などが止まる場所です。事業を手掛ける場合、自然災害や労働基準法で、例えば、九州の会社のドライバーがいったん止まる場所がキポイントとなります。また、当社では倉庫リノベーションとして、倉庫をオフィスといった空間に改修する事業を展開しています。インダストリアル空間として若い人からの受けがいいです。」

「倉庫は汎用性があります。工期が短く工費も安い上、様々な用途に変更しやすいという汎用性もあります。物流と不動産が一緒になって取り組めば、労基法も解決できると考えています。原科、不動産と物流は真逆の事業と見えます。物流はモノを動かしますが、不動産はモノや人などが止まる場所です。事業を手掛ける場合、自然災害や労働基準法で、例えば、九州の会社のドライバーがいったん止まる場所がキポイントとなります。また、当社では倉庫リノベーションとして、倉庫をオフィスといった空間に改修する事業を展開しています。インダストリアル空間として若い人からの受けがいいです。」

「倉庫は汎用性があります。工期が短く工費も安い上、様々な用途に変更しやすいという汎用性もあります。物流と不動産が一緒になって取り組めば、労基法も解決できると考えています。原科、不動産と物流は真逆の事業と見えます。物流はモノを動かしますが、不動産はモノや人などが止まる場所です。事業を手掛ける場合、自然災害や労働基準法で、例えば、九州の会社のドライバーがいったん止まる場所がキポイントとなります。また、当社では倉庫リノベーションとして、倉庫をオフィスといった空間に改修する事業を展開しています。インダストリアル空間として若い人からの受けがいいです。」

持続可能な社会をめざせ

「排ガス規制やSOx(硫黄酸化物)規制など、物流業界における環境対策は喫緊の課題であるとともに、2015年に国際連合で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は企業の取り組みとして重要な位置付けとなってきている。現代社会では、自然環境を考慮した上で事業展開がマストな時代と言えるだろう。再生可能エネルギーを将来的な分野として先進的な取り組みを進めている千葉商科大学学長で、日本不動産学会会長でもある原科幸彦氏に、持続可能性に向けた施策、物流と不動産に関する見解などについて、イーソーコ(遺産)社長、東京都港区)の大谷巖一(会長)が聞いた。」

三方よし 中小企業は腕と信用

イーソーコ会長 大谷 巖一氏



「著書の中で『三方よし』の重要性を唱えられています。原科、江戸時代の三方よしとは、売の手よし、買の手よし、世間よしです。世間へのインパクトを考え、の精神に相当します。私としては、江戸期の商業道徳という日本由来の『良きもの』を生かしたいと考えています。」

「おおたに・いわかす 1957年生まれ。東京都出身。高千穂商科大学(現高千穂大学)卒。81年東京倉庫運輸入社。92年東洋運輸に出向、物流不動産ビジネスを創始。99年アパレルセロジスティック(現イーソーコ)設立。2014年から現職。」

「著書の中で『三方よし』の重要性を唱えられています。原科、江戸時代の三方よしとは、売の手よし、買の手よし、世間よしです。世間へのインパクトを考え、の精神に相当します。私としては、江戸期の商業道徳という日本由来の『良きもの』を生かしたいと考えています。」

「おおたに・いわかす 1957年生まれ。東京都出身。高千穂商科大学(現高千穂大学)卒。81年東京倉庫運輸入社。92年東洋運輸に出向、物流不動産ビジネスを創始。99年アパレルセロジスティック(現イーソーコ)設立。2014年から現職。」

大谷の目

「高い洞察力で新風。千葉商科大学学長と、日本不動産学会会長の顔を持つ原科氏。地域経済の付加価値創造を進める不動産界から環境アセスメント、そして、実社会で有用な実学教育まで、非常に見識の深いお話をうかがうことができた。大変有意義な対談となった。原科氏独特の考察力と実行力は、不動産学会並びに、大学経営の在り方に新風を巻き起こしてくれるだろう。」